

暑熱対策の準備はできていますか？ - 養豚編 -

5月に入り、暑い日が続いています。特に、豚は暑さに弱い動物（厚い皮下脂肪のため体に熱がこもる、汗腺が退化し汗が出せない）です。暑熱対策を十分実施しなければ繁殖成績や産肉成績低下の原因にもなります。飼養環境を点検し、きちんと暑熱対策に取り組みましょう。

☆暑熱対策の点検項目☆

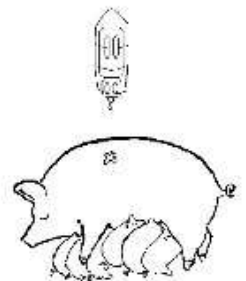
- | | |
|--------------|---|
| 1 豚舎内の換気 | 窓を開けたり、換気扇を利用して換気をよくしましょう。また、風の通り道が一方向に流れるように窓の開け方を工夫しましょう。 |
| 2 豚舎周りの冷却 | 豚舎周りの雑木や草の整備、窓に寒冷紗を張るなどして豚舎周辺の冷却に努めましょう。 |
| 3 適正な飼養密度 | 豚は体熱の放出が大きく、密飼いをすると極端に環境が悪化し、ストレスがかかります。 |
| 4 飲水装置の確認 | ニップルから十分に水がでているか、頻繁に確認しましょう。 |
| 5 ビタミン剤などの補給 | 必要に応じて飼料に添加しましょう。 |
| 6 衛生害虫などの駆除 | ストレスを軽減しましょう。 |
| 7 健康観察 | よく観察し、異常の早期発見に努めましょう。 |

低コストで簡単！！ペットボトルと氷水の暑熱対策

低コストで、排出汚水量も少ない、ペットボトルを利用した氷水の滴下による授乳豚の暑熱対策を紹介します。

方法

- (1) 2Lのペットボトルの8分目まで水を入れて凍らせます。
*一杯まで入れると破裂します。
- (2) 板やひも・袋を利用して授乳母豚の首筋～肩の上に逆さにして吊します
*母豚が届かない高さに吊してください。
- (3) なくなったら取り替えます。



これだけのことで、何もしない豚より最高体温が下がり、発情再帰日数も短くなる傾向がありました。(水の散布等の1/10しか水を使いません)

京都府中丹家畜保健衛生所 (福知山市字半田 371-2)

TEL:0773-25-1860 FAX:0773-25-1861 休日・夜間転送